

学的観察を続け、雪を踏み続け感覚を磨き、そして考え続け、山に行くべきだろう。

1月2日 明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。年末槍から帰ってきました。大雪というほどではないですか、入山前夜に降って、けっこうラッセルしてきました。中崎尾根上部からはトレースなく、槍の肩まで先頭でラッセルしてきました。26日の全国的な大雨が槍の肩でも雨だったようで、西鎌尾根上部は氷化した雪、というより完全な氷の斜面で苦労しました。時間的なこともあって、槍の肩までとなってしまいましたが、4日間、みなさん頑張ってくれました。2日夜から予定変更で燕に行きます。



12月20日 年賀状作成中です。プリンターが壊れました。この忙しいときにかぎって、、、果たして年内に出せるのか！

12月18日 白浜方面雨が降りそうだったので、大山に行ってきました。雪少なく、山陰も暖冬です。しかし頂上付近は雪少な目ながら風と雪に吹かれて冬山モード全開になっていました。下界は暖かくても山はやはり冬です。気をつけないといけませんね！



12月15日 今週は月曜日、槇尾山クライミング、午前中は寒かったですが、午後は快適にクライミング。火曜日、お休み車修理・水曜、大神山1111m雨、水曜日 京大演習林、芦生の森、金曜日 お休み、タイヤスタッドレスに履き替えました。いよいよ寒くなるそうです。もうすぐクリスマスですね！年賀状書かねば！

12/6 兵庫県の日本海に近い山に行つて来ました。新雪20cmでもう雪山でした。

11/29 笠形山のクライミングに行ってきました。11月も末なのに暖かく、登る時は半袖でも良かったです。久しぶりで、改めていい岩だと思いました。フリクションばっちり、指も痛くない1問題はアプローチ、道がないのです。だれか、道作って！

11/27 大峰に行方不明者の捜索に行ってきました。晩秋の綺麗な山ですが、沢の水は冷たく、11月の沢登りはちと冷たかったです。弥山から釈迦、前鬼までの長いルートの3回目捜索、怪しげなザック他、装備を見つけましたが、確認取れず、後日判定になりました。寒かったです。まだまだ例年より暖かい気候でした。誰もいない宿坊で、こわい話しをしたら夜寝るのが、、、となりました。計画書はしっかり警察に出しましょう！

11/13 マナスルと一緒に登ったシェルパが、アンナプルナ南壁で雪崩で遭難死しました。一番元気で強かったのに非常に残念です。雇い主のために山登り、苦しい荷上げして、最後には死んでしまう、、、仕事とはいえ、やはりたいへんな職業です。ネパールの平均よりは、かなり高給な仕事ですがやはり危険な仕事、私は雇う側なのでとても複雑な気持ちです。残された家族のために、基金を作って子供さんの教育に役立ててもらおうお話がありました。もちろん協力します。が、父親のいなくなった家族は、たいへんだと思います。登山は死んでしまったら終わり、敗北です。死なないように、努力し続けることが必要なのかな、と色々考えてしまいました。今日は雪彦、非常に暖かく、快適でした。

11/12 やっと寒くなってきました。朝堡壘岩で4°C、この秋一番の冷え込みです。クライミングもそろそろ暖かいエリアへ移動という気になってきました。でもまだまだ暖かく、雪が降るのか？少し心配です。

11/9 兵庫県の北、蘇武山と扇の山に行ってきました。兵庫県といえども、遠いです。紅葉まだ綺麗でした。しかし、気温高く半袖。なにかおかしい秋です。

11/6 文部科学省の登山研修所、山岳遭難救助研修会に行ってきました。登山指導員という非常勤の国家公務員になります。私みたいなのが公務員というのも笑ってしまいますが、、、消防士の方が担当の受講生で体力抜群！登山者よりやはり鍛えているだけあって強いです。

日本に帰ってきてはや3週間？たちました。ちょっとだけ仕事して後かたづけをやりながらのんびりできました。11月はちゃんと仕事しますのでよろしくお願いします。減った体重も少し戻ってきました。暖かい日が続くので、気持ちいいですね。

最近読んだ本 ネパール編  
アトランティスを発見せよ クライブカックラー  
権力者たち アーサーヘイリー  
秘密の友人 Aクラビン  
亡国のイージス 福井晴敏  
闇の傀儡師 藤沢周平  
秘密 東野圭吾  
落語的笑いのすすめ 桂文珍  
さらば愛しき人よ レイモンドチャンドラー  
ある閉ざされた雪の山荘で 東野圭吾  
はしり雨 藤沢周平

8/27

日本に帰ってきて1週間、だらだらしている間にまた荷物作ってネパールです。プランも一応作りました。郵送します。日本は暑いですが、ネパールは涼しいでしょうか？ブログあります

ので見て下さい。

登山隊のブログ<Niftyのココログを利用>

<http://manaslu.cocolog-nifty.com/>

です！なるべく書くつもりですが、どうなることか？行ってきます！

---

8/18 曇りのち快晴、夏が戻ってきたような最終日、夏が終わりました。荷物かたづけで1日終わりました。明日は長い長い飛行機です。

ツエルマットデポ

本、やさしく登れるアルプス3000m峰

フランス、英語、会話集

アルプス4000m峰登山ガイド

50歳からの挑戦 アルプス4000m峰36座

CD-R 10枚、スイス電源コード

グルベルアイゼン、クライミングシューズ アッセント US8、モンベルスパッツ、チョーク

バッグ(赤)、傘、アイススクリュウ(グルベル2、BD1) ワイスハーネス、補助ロープ

10m、目出帽、ホグロフスヤッケ、マーモットオーバーパンツ、ヌンチャク3、スリングヌン

チャク2、カラビナ8、安全管HMS4、リボルバー1、タイブロック、マッシュャースリング2、

スリング60×1、ペツルヘルメット、ストック1、グルベルエアテック58、BDシェルグローブ、

エピックカーボン411/2、お絵描きセット、洗剤、砂糖、お茶漬け日本食少々、

---

## [ホームに戻る](#)

8/17

トリフトにハイキング、ドムを見に行く。風がすごく強い1日、今年3回目のトリフトだが、谷に水が流れ、唐松、トウヒの林から森林限界にでて、ハイジの世界のような岩の崖と急な緑地、その上には氷河とサイドモレーン、何回いってもいい所です。

読んだ本 時生 東野圭吾

---

8/16 ドムヒュッテ朝7時前、やっと起きる。風と雪、みぞれっぽい。10時7分のランダ発の電車に間に合いツエルマットに帰ってくる。おいしいサンドイッチとコーヒー、お風呂で生き返る。

---

8/15 朝3時、モルゲン！と小屋の主人の大きな声で起きる。月夜で星空、おまけに風もない。絶好の登山日和である。小屋3:30スタート、新雪で足首程度まで潜るコンディションの中、フェスティヨッホを超えて12:00十字架のある山頂へ、快晴で360度の展望！最高である。帰りは、快調にフェスティヨッホまで下り、雪のついた岩場を慎重に行く、氷河に降り立ちサイドモレーンの踏み後にたどり着き、ほっと一息つく。小屋着17:00、疲れましたが、登頂できたので充実感いっぱいです！

---

8/14 ガスの中、明日の晴天を信じて、ドムヒュッテへ上がる。4時間あまりでヒュッテに着く。今日はバイスホルンは雲の中、夕食、謎のスープと、人參山盛りサラダとボロネーズパスタ、もういらぬのに、小屋のマダムに強制お代わりされて食べ過ぎ！

最近読んだ本 機長の決断 P.ブエプファ

(困難な状況から脱することができるパイロットがナンバーワンなのではない。困難な状況におちいらないよう心を配ることのできるからこそ、最もすぐれたパイロットにふさわしい資質なのである)

まさしく、ガイドにも当てはまることだと思いました。しかし、かつこいい機長さんは、秒刻みでやること、チェックリストだらけで、これはストレスたまるはーと感じました。なんでもマニュアル遵守みたいでたいへんそうです。帰りの飛行機もよろしく頼みます。

---

## [ホームに戻る](#)

---

8/10 お天気 下は曇り、上は青空、午後ガスの中になる

ザースグルント バイスミース 4??m 7:45のバスでグルントへ、10分程度でゴンドラ乗り場着。ホーザースまで2回乗り換えで雲の上に出る。ミシャベル山郡が朝日に輝いている。今日もついでようだ。氷河末端までモレーンを20分ほど登り、ロープをつける。氷河は、下部、中間部、ともに悪く、とくに中間部は、小セラックの急斜面はクレバス多く、ロープは必携、上部は南側の雪庇（氷庇or氷河庇か？）にだけ注意すれば大丈夫。残念ながら山頂の展望は無かったが登れて満足。下りは早く2時間かからずに帰ってくる。

---

8/9 ザースフェ アラリンホルン 40??m

朝7:30の電車でザースフェーへ、シュタルディンでバスに乗り換え、アラリンホルンまあまあの天気、4時ごろホテルミシャベルに帰りつく。La gorugeのレストランがおいしいらしい。谷横にあるお城のようなホテル、次回泊まってみよう。

---

8/8 昨日午後、まあまあの天気の中、モンテローザ小屋に入る。朝（夜中か）2時に朝食、星が瞬く中、登り始める。最初は踏み後のある岩場を、次に壁状の岩の弱点をついて氷河末端に出る。????

---

8/6 新しいお客さんと高度順化にブライトホルンに行く。野口健さんの日本テレビのロケ、ハンディキャップの方をブライトホルンに登ってもらう企画、知り合いガイドと話す。お天気最悪、ホワイトアウトで途中で帰ってくる。ロケも中止、かわいそうに

---

8/4 外食の日 お客さん交代で、日本に帰るお客さん、到着したお客さん、知り合いガイド、計8人でスイス料理店シュターデルで食事。にぎやかでした。

---

8/3 ドム 4200mで天気悪化

朝3時起床、4時前出発、小雪がほんの少し舞っているが出発、4100mまで行くが、吹雪でホワイトアウトになって帰ってくる。残念！！

---

8/2 ドム ドムヒュッテまで、ツエルマツトからランダの駅まで電車、そこからは歩いて登る。1407mの駅から4545mの頂上まで標高差3138m。ゴンドラもロープウェイもないので本来の登山となる。森林限界まではきれいな針葉樹の森をぬけ、その上は岸壁の弱点をぬって登山道がつけてある。ワイヤーロープや梯子をたよりに岩場をぬけ、氷河末端にある六角形のドムヒュッテに到着。正面にはバイスホルンのすばらしい眺めが楽しめる。

---

## [ホームに戻る](#)

---

7/31ビスホルンに行ってきました。29??mのオーバーロートホルン、ツイナーロートホルン、の近くのピーク、タンポポ畑の緑のすばらしいピークです。アルプスの少女ハイジに出てきそうな360度の展望、パリスの山がみんな見えます。ツエルマツトで唯一スキー場でなくて、リフ

ト、ロープウェイのない、交通手段は自分の足のみという所です。夕食 レシティ、釜揚げうどん、サラダ、サーモンバター焼き

---

7/30マッターホルン登頂 2回目 今回は最終ゴンドラで帰って来ました。本日もすばらしい好天。夕食、日本食レストランで、寿司、刺身、うなぎ、冷や奴、枝豆、ビール、アイスの大宴会！おいしかったです。

---

7/27 ブライトホルンハーフトラバース

今日も快晴。AM7:00の始発でクラインマッターホルンへ、カストールの予定だったが、氷河の状態悪く、帰りが心配になり、ブライトホルンのハーフトラバースに変更する。急な雪壁（下は氷河の氷）でコルへ出て、アップダウンの激しい岩を緊張しながら行く。マッターホルンより難しく、すばらしく恐ろしい高度感あり。合計5時間

---

7/24マッターホルン登頂 とても疲れました。雪が、今までにないぐらい少なく快適でした。AM4:30ヘルンリヒュッテスタート、

AM10:40山頂、PM4:30ヘルンリヒュッテ帰着。ゴンドラが終わっていたのでツエルマットアパートまで歩いて帰る。PM9:20

最近読んだ本

メトロに乗って 浅田次郎

赤い月 なかにし礼

森の中の海 宮本輝

凍える牙 乃南アサ

7/22朝6時朝食、クローテン空港に戻って、8:36ICで移動。ミグロスでサンドイッチと水買う。浅田次郎、メトロに乗って、読んでしまう。電車に半日のって疲れる。ツエルマットも暑い。アパートに入る。荷物移動終了でほっとする。エアーツエルマットの保険、今年よりマッターホルンなど岩のルートカバーされない。困った。夕方から雨、明日登りにいこうか？

---

[ホームに戻る](#)

---

7/21 お客様迎えに、ジュネーブからチューリッヒに移動。チューリッヒ泊

---

7/20 コスミック山稜

朝7時30分のテレキャビンでミディへ上がる。空いていて11時に終了。雪少なく、すぐアイゼン脱ぐ。今日も快晴。暑い。昼はアルピナのピザ屋。ビール飲んで寝てしまう。夜荷物かたづけ。大荷物になる。ザック1つ食料でいっぱいになる。あすはスイスに移動だ。さよならフランス！

---

7/18 モンブラン3山縦走してきました。コスミックの小屋（夜中の1時に朝食!!）からモンブランタキュル、モンモディのコルを越え、ブレンバのコル、モンブラン主峰、ドームドグーテ、グーテ小屋、ニーデーグル、まで長かったです。充実した濃縮の1日。何回登っても、モンモディでの夜明けのすばらしさはわかりません。夜から、朝への色の変化は感動します。

---

7/13 朝7:00チューリッヒ着 電車で移動3時間ちよつとでジュネーブ着。レンタカー借りる。フィアットのレンタカー、スイスからフランスに移動中、いきなりパンク、というよりバースト、タイヤが取れる。130キロで走ってくる高速道路上で他の車に引かれそうになりなが

らタイヤ交換、シャモニ着夜11:00、やれやれ長い1日終わる。

---

7/12 TGで午前11:45関空出発、いよいよ夏本番、がんばるぞー バンコクまで時差2時間、乗り換えてチューリッヒに移動。

---

## [ホームに戻る](#)

---

2006年7月12日

もうすぐ飛行機に乗らないといけなのに、仕事終わりません。試験勉強で切羽詰まった学生時代に戻ったようです。コンピュータは壊れるし、新コンピュータのセットアップに時間がかかり、便利はずの電器器具に振り回されています。もうすぐ夜が明ける、、、明けました。暑い大阪から涼しいヨーロッパに行けるのが唯一の楽しみ、もう少し頑張るか！眠い

---

2006年7月1日

北海道に行って来ました。十勝岳の下だけ？と旭岳、緑岳の花畑（ほとんど雪溪の下でしたが）に行きました。火山の山で森林限界以上は荒涼とした感じの山が多く新緑と残雪のコントラストが新鮮でした。高山植物いっぱい綺麗。えぞコザクラ、チングルマ、えぞツツジ、高層湿原の多い北海道はすばらしく花天国です。9月末にはもう冬になる夏の短さがいいのかもしれない。秘湯の宿ツアーを始めました。10回泊まれば1回無料となんと大阪的発想ですが、今回大雪高原山荘でスタンプ1個ゲット。高原沼の秘境と箸に書いてました。風呂は良かったです。あと9回、次回は10月の酸ヶ湯温泉です。

---

加賀乙彦の湿原、思い出しました。これは愛の物語である。と広告していました。愛といっても渡辺淳一的愛ルケではなく、もっと奥深いもので、魂が洗われました。10年の冤罪、長いです。ご一読おすすめ

---

2006年7月1日

文部科学省登山研修所で、山岳救助の研修会してきました。雨が1日も降らず、良い研修ができました。でも本当は、雨降ってびしょぬれになって救助訓練するほうがいい気がします。お天気悪い方が事故多いですから、、、。今年は空梅雨？

---

## [ホームに戻る](#)

---

2006年6月16日

東北、岩手、秋田に行ってきました。学生時代にバイクで通り抜けたことはありますが、初上陸、です。八幡平は高層湿原で残雪と新緑のコントラストが非常に綺麗でした。八幡平は登頂！秋田駒（秋田駒というピークは無いので、男女岳、男岳に登る人が多いそうです）は、濃い霧と強風で、木道から阿弥陀池に飛ばされそうになり、避難小屋から敗退しました。岩手山はお天気の具合で次回となりました。秘湯乳頭温泉泊ってきました。

ところで、湿原で思い出したのですが、加賀乙彦の名作「湿原」、読みました？学生時代に読みましたが、よかったのを思い出しました。でも内容は思い出せません。もう一度読んでみようと思っています。

最近読んだ本

ダヴィンチコード 浜村淳によると本読んでから映画みるほうが良いそうです。

---

2006年6月12日

梅雨入りしましたが土日もクライミング出来ました。5月の末もいい天気の日焼けしまくりで顔が真っ黒です。私も最近は日焼け止め塗ります。日本気象協会によると、1年間に降り注ぐ紫外線の70パーセントが4月から9月の半年間に集中し、7、8月だけではないようです。また曇りの日も注意、雨の日でも晴れの30パーセントの紫外線が出ているそうです。ある山

---

小屋のご主人は日焼け止めぬると男がそんなもの塗ってはいかん！と怒るそうで（お客さんには言いません）その界隈の人は顔真っ黒で、年数と共に日焼けに強くなるそうです。しかし日焼けでしわが目立ち、しみも出来やすいのはまわりのガイドのおっちゃんを見ていると事実です。しわの所だけ日焼けしてないのは、悲しいですね。実感！

---

2006年5月26日

北海道に行ってきました。雨ばかりの5月でしたが、今回は快晴！雪いっぱいの羊蹄山登ってきました。5月は修学旅行おおいのでしょうか？飛行機もいい時間の便は修学旅行でいっぱい取れず、宿も修学旅行で風呂貸し切り時間あり！で少々不便でしたが、登れて満足して帰ってきました。

---

[ホームに戻る](#)

---

2006年5月22日

雪彦に日帰り、新緑が黄緑の魔法みたいに綺麗でした。いい天気のはずが曇り、大阪28℃の予報が、現地では、風強く、長袖フリース着てました。いいかげん脱ごうと思うのですが、半年間、体になじんだのでまだまだ山行には必要？です。北海道羊蹄山ではまだまだ早春のはず。行くのが楽しみです。

---

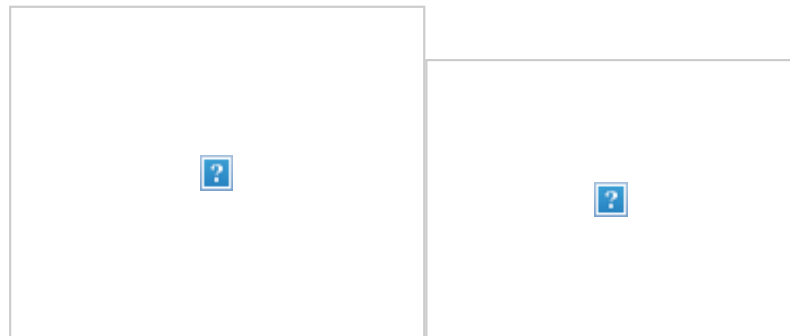
2006年5月18日

地図の読図技術研修で、元オリエンテーリング日本チャンピオンに講義と実技をやっていただきました。コンパスの使い方は、登山者が考えるほど複雑でなくてよくシンプルな使い方で、それよりも、地形図を見る、読む、時間、回数、つまり密度を上げることが重要で、さらにそれを元に、間違いやすいところや現在位置を予測する、考えることが重要だと実感しました。

---

2006年5月17日

救助技術研修中です。久しぶりに頭を使って疲れています。最近出会った動物たちを紹介します。カモシカと雷鳥です。雷鳥は飛ばないと思っている方がいるようですが、よく飛びます。鳥ですから当たり前か？



2006年5月1?日

昨年九州、祖母山で見られなかったあけぼのツツジを四国に行ってきました。ばっちり咲いていて良かったです。雨でしたが、雨の霞のなかで浮かび上がる桜色の大きな花びらは他では見られない美しさでした。春はいいですね。

---

2006年5月7日

GWも無事終わりました。西穂、霞沢、剣と北アルプスに行ってきました。西穂は吹雪で冬でしたが、あと2つは春山となり暖かかったです。この春は春が遅く、事故が多かったですが、やっと山にも春が来たようです。

---

2006年4月27日

2回室堂に行ってきました。どちらもお天気崩れれば雪が降り、まだまだ冬山のようなのでした。今

年は1ヶ月ほど山の春は遅いようです。雪も多く、雪崩にご注意です。

---

## [ホームに戻る](#)

---

2006年4月18日

岩崎元郎氏の講演会に行ってきました。お客さんいっぱい、1時間30分、お話いっぱいでした。ばてない登山、ゆっくり歩く！当たり前ですが、自分の体力を把握して無理ないように登山する。駅の階段あがるのもトレーニングですが、あまりに短時間なので登山には役に立たないようです。でも、気持ちはエスカレーターより階段登りましょう！

2006年4月15日

明日はまた雨。3月から4月にかけて雨が多いです。おまけに週末は必ず！と言っていいほど。気温も低めの日が多く、アルプスでは雪となっているでしょう。もうすぐGW、9連休の人もいるのではと、羨ましいです。たのしみのGWですが、ことしは雪が多いです。雪崩の事故が最近多いのでお気をつけて、ビーコン、シャベル、ゾンデは必ず持って行って下さい。岳沢ヒュッテも雪崩で開業が遅れるようです。GWの宿泊、確認してからお出かけ下さい。

2006年3月29日

一昨日までぽかぽか陽気で柵池、八方、五龍スキー場の雪はザラメ、シャーベット状態だったのに、今日はまた冬型に逆もどりして北陸道通行止め。また新雪がつもっているでしょう。大阪は桜の花もちらほら咲き始め春が来ています。桜は毎年、同じ時期に同時に花が咲きます。驚きの正確さで、人には作れない、どんな素晴らしいセンサーを持っているのでしょうか？自然は偉大です。

2006年3月25日

少し前、仲間のガイドが山で亡くなりました。救助にいったのですがお天気が悪く間に合いませんでした。残念でなりません。春なのに、、、

2006年2月26日

最近雨が多いです。昨日は2月とは思えない暖かさの小赤壁！最高でしたが、今日はせつかくの日曜日なのに、大雨になり久しぶりにパンプに行きました。混雑すると思って朝一番9:00からスタート！いろいろ変わっていました。たまには室内もいいものです。もうすぐ3月、GWはどこに行こうかな？思案中です。行きたい所教えて下さい！

2006年2月23日

城の崎に行ってきました。温泉旅行？でなくて雪山登山です。来日岳500mちょっとですが、雪50cmぐらいありました。洪水の円山川を眼下に独り占めの登山でした。春の息吹を発見！木の芽が色づき、ぶなの根本は雪が融け、緑の苔が春が近いのを感じさせてくれました。

---

## [ホームに戻る](#)

---

2006年2月21日

文部科学省登山研修所 指導員研修会で大日岳に行ってきました。この冬も相変わらず、寒暖の差が大きく、富山も大雪、雨、気温10°Cの日を繰り返しています。大日岳に登って、各種訓練、観測もしてきました。

自宅撮影会2006年2月8日

雑誌の取材で家を撮影に来ました。当然散らかっているのに、しばらく掃除の日が続きました。早くも不要なものがたくさん貯まっています。処分したつもりですが、撮影のときはもっと物をなくして撮っていました。絨毯なんかなしにして、、、つまり雑誌にするには生活感がないほうがいいようです。でも、ホテルのような家、きれいで、すっきりしていますが、落ち着きません。すぐもとの状態に戻りました。

2006年1月31日

北海道に行ってきました。手稲山周辺と、ニセコ周辺で雪崩搜索訓練とバックカントリースキーに行ってきました。

ボーイズ、ビー、アンビシャス、クラーク博士の言葉です。少年よ大志を抱けですが、いろんな意味の取り方があるような気がします。少年だけではなく、どんな人にも当てはまる言葉ではないでしょうか？

北海道のドライバーは、乱暴です。少々雪でタイヤが滑っても平気です。ご注意を！

2006年1月31日

最近読んだ本

白夜行

タイトルとドラマ化に誘われて読みました。白夜行の白夜は、極地の話しではなく、夜が明けないという意味の白夜でした。文庫本で1000円、800ページ強の大作ですが面白かったです。でも悲劇です。

2006年1月1日 元旦

あけましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。この冬は暖冬の予想が外れて年末からきびしい寒さです。雪もどこに行っても多く、20数年以上前の冬山を思い出します。昔は上高地に行くのにも、沢渡のゲートから今はトンネルになっていますが、川沿いの細い道を延々とラッセルしました。上高地まで1日仕事でした。しかしいまや、真冬でも工事の車が上高地に入るので、釜トンネルからラッセルなしで2時間で上高地です。釜トンネルも旧道は役目を終えて、新釜トンネルは高速道路のようになりました。今シーズンは雪が多いので少しだけ昔に戻ったような気分です。

---

[ホームに戻る](#)

---

2005年12月15日

雪山をどう学んでいくか 心構えとアドバイス

真っ白な雪山は美しい。春の新緑、秋の紅葉もきれいであるが、雪山の美しさは格別である。雪が凍り付いた白い枝、青空にうかぶ白い稜線、一度晴天の山頂に立てば虜になるだろう。しかし一方、危険も多い。夏山では笑い話のミスも雪山では致命傷になる。悪天時、夏山なら土砂降りのなか下着まで濡れて震えるだけでも、冬山で吹雪かれれば低体温症で命が危険になるかもしれない。夏は何でもない斜面、稜線も冬山では転滑落の危険がいっぱいの山になる。このように冬は夏以上に危険が多いのはみなさん納得できるだろう。登山は経験が重要である。その経験を効率よく身につけるためどうすればいいだろうか？雪山登山の学び方を考えてみよう。

1.事前に学ぶ

冬山登山のノウハウを事前に学ぶことは意味がある。目標の山にあわせた装備、技術などあらゆる方法で自分なりに考えて調べてみることだ。雑誌、書籍、溢れる情報の中、目的の山のコースタイム、積雪量、天気、現在の山の写真など簡単に手に入る。また、ガイドブックや雪山ルート集をみれば、危険個所の写真や登り方まで解説してくれている。また遭難事例を読んだり、体験者や、友人知人、先輩などに失敗談を聞くことは良いことだ。しかし、それで充分なのだろうか？

2.事前に学ぶことは、ほんとうに登山者の力を高めるか？

ひとつ質問です。地形図の見方を完璧にマスターすれば、どんなホワイトアウトでも迷わず

行動できるか？1/25000の地形図と登山用のコンパスだけでは、どんなベテランでも無理である。地図上1mmの誤差が実際には25mとなり、1km先の峠を目指すのに角度が1度違えば地図上だけで約17mの違いがでる。まして吹雪の山中で地図を手にとってコンパスをあわせた場合、5度程度の誤差は自然に発生し、誤差は100m近いレベルになる。また仮に角度を正確に合わせても、凹凸のある斜面をまっすぐに進むのは不可能である。このように、読図をマスターするのは重要であるが、冬山で吹雪で迷わないためには何が一番大切か？を考えるほうが大事ではないか？

### 3.失敗を重ねる

登山は経験が重要である。スポーツ一般では、競技者のピークは体力的なピークに近い。しかし登山では40歳、50歳になっても第一線でヒマラヤ高峰や高難度なクライミングの登山を続けるベテランが多い。これは体力だけではなく、経験が登山の重要な力のひとつだからである。このように経験が登山者の実力アップにはかかせない。私の持論では、人間は自分が体験してみないと本当に理解したとはいえないと考えている。書物でいくら危険を学んでも、実際には充分役に立たない。ヘッドランプを忘れて山に行き、日が暮れて夜道に苦労し、山中で一晩過ごせば、今後絶対にヘッドランプと予備電池は忘れなくなるだろう。マイナス15°Cの気温で、素手でアイゼンをつけ、手袋をぬらして凍傷になって始めて、素手になってはいけなさと理解するのではないだろうか？稜線で吹雪かれて初めて吹雪かれたらどうなるか解るのではないか。そういう意味で、死なない程度の失敗を重ね、そのピンチを乗り越えることが、その登山者のほんとうの経験になっていく。快晴無風の山頂、トレースばっちりの雪道を10年歩いても経験の蓄積はないのではないか。しかし、死なない程度の有効な失敗の経験を続けるのはたいへん難しい。

### 4.考える登山者になろう！

失敗をすることにより、人は考えることを身につける。登山で一番大事なことは、判断力である。登山のセンスと言ひ換えてもいい。このピンチをどうやって通り抜けるのか？自身で予想し考えることが大事である。そういう行為を重ねることが登山者の感覚をとぎすましていくのではないか？

考える登山しませんか？いろいろ考えることこそ、脱初心者の第一歩である。そこで、質問です。あなたの実力、どのくらいですか？その山にそのルートに行くのに充分ですか？人に聞く前に自分で良く考えて見ましょう。間違ってもいいのです。その場面で一番大事なことを選んで考える癖をつけること。それがレベルアップの方法です。一回一回の山行をよく考え、センスを磨いて下さい。

---

2005年11月28日

今日もクライミング！まるで10月のように暖かく、日なたは暑かったです。11月末とは思えません。でも明日から寒くなりそうで、風邪にご注意下さい。

---

2005年11月27日

風邪ひきました。不摂生しているためか？腰いたいんです？体が弱ると、いろんなモチベーション下がります。あいつ磐梯山は宝の山よ！は、どんな意味なんですか？

---

2005年9月30日

最近見た映画

チャーリーとチョコレート工場

---

[ホームに戻る](#)

2005年9月29日

9月も終わりになりました。スイスから帰国して1ヶ月たったのに、なかなか事務仕事進まず、HPも更新できませんでした。年末までの予定もやっと出来上がり、宿題がやっと終わった子供の気分です。急にすずしくなり、山ではだいぶ気温下がって来ているでしょう。雪はもうすぐの気がします。夏もヨーロッパは寒く、特に8月は寒い夏でした。雨も多く、2000m以下まで雪が積もりました。あと1ヶ月ちょっとで日本も雪山になりそうで、寒がりな私はお正月まで憂鬱です。お正月すぎると、体も寒さに慣れなんともなくなるのですが、、読書の秋、最近読んだ本、

天空への回廊 笹本稜平

スノータイガー デズモンドハグリィ

蒼穹の昴 浅田次郎

日輪の遺産 浅田次郎

花のれん 山崎豊子

死刑判決 スコット

あとヨーロッパでたくさん読んだのですが、忘れました。本読んだりしてるから事務仕事進まないのですね！反省

2005年7月7日

あつという間に7月になりました。豪雨の富山9日間の旅に続いて、礼文島に行ってきました。灼熱の富山、気温35℃から長袖フリースの島は寒かったです。海の幸だらけの食事は豪華、アワビ、ウニ、いくら、ホタテ、昆布、エビ、1万円以下の民宿泊でも満足。旅館に泊まればとても食べきれないのでは、、、、ただし強風でゆっくり山登りできませんでした。写真が撮れなかったです。今年はヨーロッパも暑そうかどうか、

2005年6月1日

ルデックウオーキングてご存じですか？クロスカントリースキーの陸上版です。ストックを使うことにより、全身の筋肉の約90パーセントを鍛えることができる新しいスポーツです。ヨーロッパでは大流行です。簡単ですから皆さんも一度トライしてみませんか？

2005年5月29日

久しぶりに不動岩に行きました。暑い日で、夏ばてまでもいかずとも、疲れしました。お客様のレベルもいろいろですが、着実に上手くなっているのを見ると嬉しくなってきます。ビレイの手つきが不安そうだった方が、たのもしくビレイしてくれたり、室内壁でしかリードしなかった方が、自分でヌンチャクをセットしてリードしているのを見ていて、幸せな気持ちになります。ただ、登るのがうまくなっても、落石、終了点のアンカーなど、自然の岩場の危険は減りません。怪我なく事故なく登り続けるのが、優れたクライマーの姿だと思います。

[ホームに戻る](#)

2005年5月23日

GWも終わり、雪山シーズンも終了しました。いつの間にか5月も終わりで車のエアコンを入れる日も多くなってきました。アルプスも良かったですが、近郊の山も今花、緑ざかりです。新緑の山紅葉やブナ、どうだんツツジ、しろやしお、しゃくなげ、山つつじ、1000mぐらいでしたら、いわうちわ、スマレ、などお花も咲いています。暑くもなく、寒くもなく、気持ちよい低山山登りぜひ行って下さい。

2005年5月2日

新潟初上陸してきました。もちろん佐渡家島も初体験。お花見山行、自分で計画したのですが、こんなに咲いているとは、、、、びっくりしました。感動の高山植物だらけ、雪国の自然の豊かさに感心しました。かたくり、福寿草、雪割草（各色）キクザキイチゲ、エンレイソウ、シラネアオイ、エゾエンザクラ、オオヤマザクラ、ユキツバキ、ショウジョウバカマ、ト

キワイカリソウ、エチゴキジムシロ、以上たくさん覚えて帰ってきました。よかったです。

---

2005年4月4日

あっという間に春になりました。遅い桜もそろそろ咲いてきました。3月は何をしていたのか？最近ハマっているのは日曜大工？私の場合は、平日大工です。ガレージを作っています。目標はサンダーバード2号の基地みたいなやつです。車に乗ったまま道具がいろいろ出し入れできる！のが夢です。また、雨が入り込んでくるので、先に壁を作ってしまうのが先決ですね。3月は雪が多く、今年の春山は雪が多く楽しみです。

---

[ホームに戻る](#)

---

2005年2月26日

なんと1ヶ月ぶりの日記更新、ちょっと忙しいときぼってしまい、新年の誓いは何処かに行ってしまった。反省。最近寒さにも体が慣れ、今日の姫路クライミングもあまり寒さを感じませんでした。気温5～6度ぐらいでしたが、日差しがあれば大丈夫、太陽は偉大です。温暖化はいけませんが、、雪が降ってきたのには困りましたが、、ロタウイルスに感染して久しぶりに1日寝込みました。すごこお腹を下し、近年まれにみるトイレの回数でした。1時間に1回くらいか？そこで思い出したのは、20数年前、ネパールの登山後、インドを放浪していたころ、ずーとお腹をこわして下痢をしていたのを思い出しました。登山中は良かったのですが、その後、約3ヶ月、まったく固さのある便が出なかったのを思い出しました。貧乏旅行でへんなものばかり食べていたせいでしょう。それでも慣れればなんとも無かったのは、若かったせいでしょうか？日本に帰ってきて3ヶ月ほど調子が戻りませんでした。今度は日本食が体に合わなかった気がしました。教訓は、良く手を洗いましょう！ということです。チョークの付いた手でご飯食べてませんか？昔は薬局で炭酸マグネシウムを買ってチョークバックに入れていました。あれは確か胃の薬のはず、、、今の市販チョークは何が入っているのでしょうか？また調べます。それでは、、

---

2005年1月31日

ザックは軽いほうがいいです。荷物の量は、各人の性格がでるようで、多い人はいつでも多いし、少ない人は、いつでも少ないです。装備表にあるのを持ってきてるんですが、、と言われるとまさしくそのとうりの物を持ってきてくれています。私の装備表が悪いのか？と悩んでしまいます。たぶん、食料と着替え、衣類の量でちがいができるのではと思います。靴下のスペアを持っていくべきか、歯ブラシだけにするのか？歯磨き粉も持っていくのか？靴ひものスペアは必要ですか？切れれば、結んで応急的に使えばいいと思うのは間違いでしょうか？ご飯を食べるのは、スプーン、フォークはなくて割り箸だけで良いと思うのは良くないでしょうか？また次回につづきます。

---

2005年1月12日

電動歯ブラシを買いました。それも、超音波歯ブラシです。超気持ちいいです。すごい進歩だと思います。山の道具も日々進歩しています。しかしながら昔のままのほうがいいというのもあります。冬山の下着は、化学繊維ではなく、昔ながらのウールがやはり一番いいです。汗をかいても、冷たさがあまりありません。化学繊維は早く乾きますが、汗が乾くのに、体の熱が気化熱で奪われ、寒いのです。運動を続ける場合はいいですが、しばらく休んだりするとすぐ体が冷えます。たとえば、トラブルで目的地まで行けない、下山できず、その場でビバークするような場合、有利なのはやはりウールです。最近の下着はちくちくしないし、めちゃくちゃ縮まないし扱いも楽です。同じく、靴下もウールです。それも新しいのがベストです、2年も3年も使ったのは、性能が落ちています。古いのは夏山に回して、新しい靴下で冬山に行きましょう！

---

2005年1月10日

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。約1ヶ月ぶりのごぶさたで

---

す。やっと寒くなってきて冬らしくなってきました。年末、年始進行でたくさん登山させていただきました。寒さも慣れてきて大阪の朝はそんなに寒く感じなくなりました。今日もクライミング行ってきましたが、日なたは風さえなければ充分暖かく登れます。雪の交通規制を聞いているうちに初滑りに行きたくなりました。初滑り＝スキーですが、初登山、初クライミングはいまいちゴロが悪いですね、なんかいいいい方ないですか？

---

2004年12月17日

自分の意見をまとめて発言するというのは難しいです。発表して相手の反論に対して討論ができず、頭にきてしまうのは精神的に成熟していないからか？ただ単に、準備不足か？教育が悪いのか？ともかく仕事は準備が大事です。度胸いるときもありますが、、、まだまだ原稿用紙10枚は書けません。

---

[ホームに戻る](#)

---

2004年12月13日

最近読んだ本

女系家族 山崎豊子

原稿用紙10枚を書く力 斉藤孝

永遠の仔 天童荒太

登山の体を作る 大森義彦

忙しいわりに読書が進みます。でも年賀状と山行計画は進みませんで困ってます。

---

2004年12月10日

師走です。気持ちは焦るがやることたくさんで大変な日が続きます。山の用意、年賀状、山行計画、発送、注文、HPの更新、デジカメの整理、メール返信、お客さんに電話、夜型の私としては、夜12時を回らないと、全く調子が出ません。机の前に座っているだけ、、、ケイちゃんは鶏肉です。明日から気合いを入れるぞ！コーヒーなんぞ飲みながら、このテレビ見てから、この雑誌読んでから、このたばこ吸ってから、は止めます！

---

2004年11月26日

岐阜県で夕ご飯食べました。そのものは、大エビフライ2匹つき、でこれは確かに大きかったです。問題は焼き肉メニューの中にあつた、ケイちゃんという言葉？これは何でしょうか？答えは次回。ハッの答え、誰か教えてくれませんか？今日は東京日帰りの旅、です

---

2004年11月18日

最近の悩み

1. 腰痛

2. ATCの意味は、とお客さんに聞かれてエアートラフィックコントローラと答えましたが、正確な意味不明、もしかして、オールウエイズテンションコントローラー？クライマー、時事英語辞典ではAIR traffic controller（航空管制官の意味）空中を飛んでもとめるぜ！ということか。次なる疑問はATC XPのXPは何だ？

3. 富山県砺波市は散居とチューリップの町らしい。さんきょ？しきい？長年北陸道を車で走っていて看板を見続けましたが、今夏、ついに疑問が解けました。さんきょとは、家が1軒ごと別れて建っていて集落になっていないで、間にたんぼ、畑があることらしい。さんきょ、皆さん知ってましたか？英語じゃなんていうのだろうか？

4. ペツルの確保器、ハッは英語のリバースの意味？それともルとバルソーに分かれているのか？たしかモンベルは美しい山の意味、モンが山だからベルは美しい、関係ないけど近所にでき

たマンションはルモンベルです。となると、ル（冠詞）+ベル（美しい）+ソ（意味不明）なのか？たしか著名な登山家の事務所名もルーベルソーだったはず。インターネットで安直に探すと出ました！ベルソーとはゆりかごの意、または水瓶座！でもスペルが違うみたい。悩みは数多い！

5. HP更新せず、宿題しない子供のようにです。忘れてるわけではないのですが、、、

---

2004年10月31日

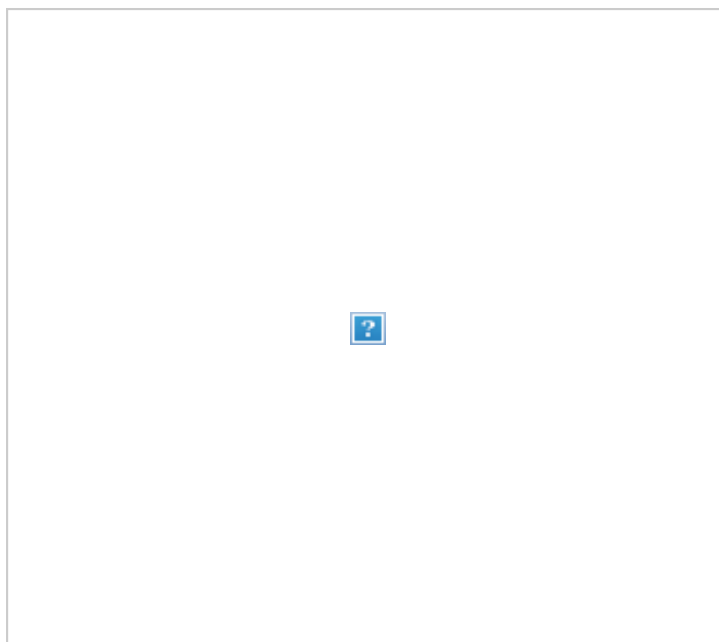
韓国に行って来ました。キムチは美味しかった！インスボンの岩は相変わらず、素晴らしくクライマーの根性を試されました。なんといってもボルトがない。もちろんハーケンも！クラックやチムニーは、まだフレンズなどでプロテクションとれますが、スラブは、超こわいです。とくに5.10未満のグレードは度胸一発、40mにボルト1本、根性つきませ！

---

[ホームに戻る](#)

by MICHIHIRO KADOYA

◆お問い合わせ・お申し込みは....



〒590-0141  
大阪府堺市桃山台1-22-11  
TEL/FAX 072-296-8393  
携帯 090-5164-5297  
E-mail [kadoya\\_guide@mac.com](mailto:kadoya_guide@mac.com)

---

[ホームに戻る](#)

---